

【彦根市】
校務 DX 計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会および学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本市において、次に掲げる事項を重点的に推進します。

1. ネットワーク構成の見直し

校務系・学習系ネットワークの統合やクラウド活用を推進し、教職員が場所を問わず柔軟に業務を行える環境を整備します。整備にあたっては、セキュリティを確保しつつ、利便性と効率性を高めるためのネットワーク構築を進めます。

2. 校務支援システムの更新

現在の本市の校務支援システムは、オンプレミスで運用しており、学校現場では学籍、成績管理、保健等様々な校務で活用しています。

また、保護者連絡ツールとの連携による欠席連絡の自動化や、リモートアクセスによる在宅勤務ができる環境を整えています。

今後、県域での校務支援システム導入を見据え、県の動向を注視しながら、クラウド化についての検討を進めます。

3. ペーパーレス化の推進

本市では令和 4 年度の印刷環境の刷新により、令和 5 年度から FAX での連絡の見直しや外部から受信した FAX のデータでの受信によるペーパーレス化を推進してきました。一方、印刷環境のサブスク化により、カラー印刷の制限が無くなったことから、全てをペーパーレス化するのではなく、データと紙の特性に合わせた使い分けを進めています。引き続き、ペーパーレス化を推進しつつ、効果的な印刷についても事例の蓄積による研究を進めます。

4. 校務のデジタル化に向けたツールの活用

校務の効率化や授業の質の改善を図るため、授業支援ソフトやデジタルドリルの活用のほか、採点支援ソフトによる採点業務の軽減やデータの蓄積・分析、生成 AI の活用に向けた検討を行います。

また、教員によって ICT 活用能力に個人差があることから、ICT 推進リーダーによる学校全体の ICT 活用能力の底上げを図ります。